



綾瀬市型小中一貫教育



☎ 教育指導課 ☎ 70・5660

「綾瀬市型小中一貫教育」を推進

小・中学校それぞれが目指す子ども像を共有することで、9年間を見通した系統的な教育を目指しています。

“小中一貫”という名称ですが、小・中学校の校舎を統合するわけではなく、授業の進め方や学校生活のルールなどを共通化します。

進学・進級しても授業の振り返りや予習がしやすくなるなど、スムーズに授業に取り組めるようになります。

目指す子ども像は

「人を思いやり 社会を生き抜く力を
身に付けた 綾瀬の子ども」

今年度は「授業の振り返り」に重点を置いて取り組んでいます

児童・生徒が授業を通して自ら学んだことをノートやワークシートに書き、学習内容や学習方法を言語化することによって学力の定着につながっています。併せて、課題となっている家庭学習の習慣化に結び付くように支援しています。

小・中学校それぞれの教員が互いに理解を深めることが重要

交流会を開催し、講演会や課題解決のためのワークショップも行っています。



▲教員によるワークショップの様子



あやせコミュニティ・スクール

☎ 教育指導課 ☎ 70・5660、生涯学習課 ☎ 70・5658

全学校で、あやせコミュニティ・スクール (学校運営協議会制度)を開始

同制度では、地域の方や保護者、学識経験者などに学校運営へ参画してもらい、共に知恵を出し合いながら「子どもの学力向上」や「地域人材の活用」などについて“熟議(「熟慮」と「議論」の造語)”を重ねることで、地域と学校で目指すビジョンを共有しています。



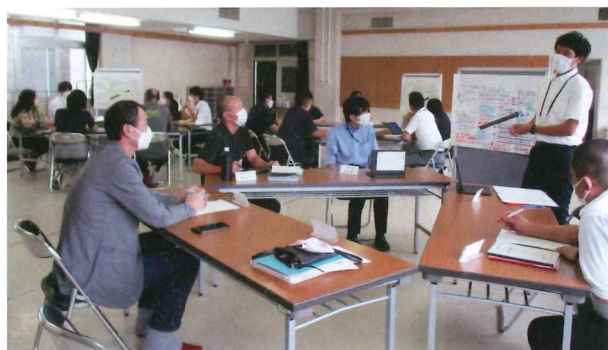
こんな議題がありました！

- ◎ 学力を向上させるための地域ボランティアとの連携について
- ◎ 地域のイベントと学校のタイアップ企画について
- ◎ 地元企業と連携した職業講話の実施について など

共有したビジョンを達成するために

学校と地域をつなぐ役割を果たす「地域コーディネーター」を中心に、地域学校協働活動を展開し、学校や地域で課題となっている事案の解決を目指します。

学校と地域がパートナーとして子どもたちの豊かな成長を支える「地域とともにある学校づくり」を目指していきます。



▲学校運営協議会での熟議の様子



▲地域学校協働活動の例
(PTAのイベントにおける地元企業と連携したものづくり体験教室)